

## 巨大地震に対する役割

| 自助（家庭）       | 共助（自治会 町内会）    | 公助（市 区 町村） |
|--------------|----------------|------------|
| ① 家具の転倒防止    | ① 消火 消火器による消火  | ① 拠点病院の開設  |
|              |                | ふれあいホスピタル  |
| ② 初期消火 消火器   | ② バケツリレーによる消火  | ② 救護所の開設   |
| 各家庭の消火器による   |                | 小山小学校      |
| ③ 初期消火 バケツ   | ③ スタンドパイプによる消火 | ③ 避難施設の開設  |
| 風呂水を利用       |                | 小山小 小山中    |
| ④ 初期消火 水道ホース | ④ 倒壊家屋からの救出    | ④ 給水所の開設   |
| 20メートル散水ホース  | 救出班の出動         | 罐水給水所      |
| ⑤ 避難 電気のブレーカ | ⑤ けが人の搬送       | ⑤ 給食施設の開設  |
| 震度5以上自動切断    | 拠点病院。救護所へ      | 備蓄食料の配布    |
| ⑥ 家屋の倒壊 救助要請 | ⑥ 避難誘導         | ⑥ 自衛隊等の要請  |
| 班長より自治会長へ    | 自治会単位でまとまる     |            |
| ⑦            | ⑦ 給水           | ⑦          |
|              | 給水センターから       |            |
| ⑧            | ⑧              | ⑧          |
|              |                |            |
| ⑨            | ⑨              | ⑨          |
|              |                |            |
| ⑩            | ⑩              | ⑩          |

## 地震への備え

### (1) 地震への備えに対する基本的な考え

地震などの被害を最小限に抑えるには、自助(じじょ)・共助(きょうじょ)・公助(こうじょ)それぞれが役割を果たしていくことが大切です。「自助」、「共助」、「公助」とはどのようなことでしょうか。

1.「自助」とは、自分の身を自分の努力によって守ることで。

2.「共助」とは、身近な人たちがお互いに助け合うことで。

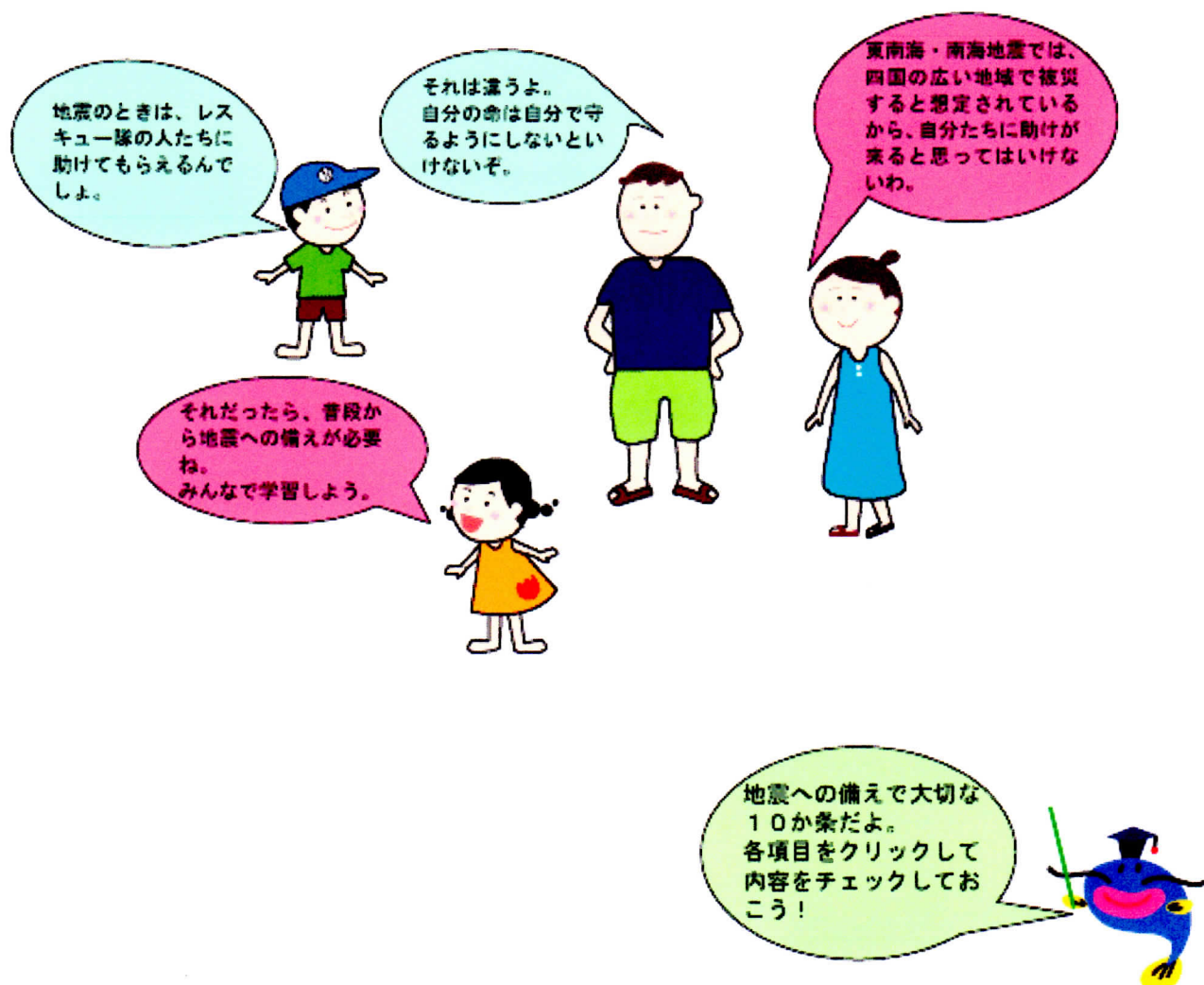
3.「公助」とは、国や県などの行政機関による救助・援助です。

このうち、「公助」のみの災害対策には限界があり、平成7年の阪神・淡路大震災の教訓から「自助」「共助」が極めて重要になります。

地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊や家具の転倒によるものです。また、東南海・南海地震では、地震発生後に巨大な津波が短時間でおそってきます。このため、地震直後の災害から身を守るためには、自ら守る「自助」はもちろん、近隣の人々が助け合う「共助」が極めて重要です。一方、消防機関等が救出、救助、消火活動を行う「公助」は、地震直後にみなさん一人一人に対する初期の対応ができず、「公助」だけの対応ではほとんど無力です。

このようなことから、みなさん自身が「自分の身は自分で守る」、「自分たちの地域は自分たちで守る」、「これに足りない部分を行政機関が補う」考えを持ち、地震に備えることが必要です。

そこで、次のようなことを普段から心がけ、いざというときに適切な行動ができるように日頃からよく考えておきましょう。



### 地震への備え10か条

#### ●日頃からの備え5か条

- 第1条 あわてず行動できるように家族と日頃から話し合おう！
- 第2条 地域の防災訓練やシンポジウムに積極的に参加しよう！
- 第3条 家具等の転倒防止、家の耐震対策など安全を確保しよう！
- 第4条 危険箇所や避難場所の確認など防災知識を身に付けよう！
- 第5条 非常用品の備えを万全にしよう！

## ●地震が発生した場合の行動5か条

第6条 落ち着いて身の安全を確保しよう！

第7条 あわてず火の始末をしよう！

第8条 すみやかに安全な場所へ避難しよう！  
(海岸近くにいるときは、とにかく高台や高い建物へ避難しよう！)

第9条 近所と協力し助け合おう！

第10条 正確な情報をつかむようにしよう！